

教えて!! 家族が幸せに暮らせる

災害対策もバッチリ 子育てにやさしい! 家づくりのヒント

これからマイホームを建てるなら、何より家族が安心して暮らせる家にしたい!そこで、今回は安心・安全をテーマに、家族がもっとハッピーになれる家づくりのチェックポイントを教えていただきました。

POINT 4 体にやさしい建材はどう選べばいい?

塗り壁や紙のクロスなど自然素材を選んで



家族の健康を考えるなら、天井や壁はできるだけ自然素材を選ぶのがおすすめ。しっくい壁や天然木の天井や床などの自然素材は、室内の湿度を適度に保ってくれるので、カビの発生も防ぎ快適な環境に。壁紙の接着剤なども、化学物質が使われていないかチェックしましょう。

POINT 3 家族とコミュニケーションがとりやすい間取りは?

家族がいつも集まれるようにリビングを広めに!



個室で区切りすぎないこと。たとえば、ダイニング、リビングを広くとり、そのスペースの中でパパが本を読んだり、子どもが遊ぶというように家族の気配をお互いに感じられる空間づくりが大切です。自然にコミュニケーションもとりやすく、見通しがよくなることで防災対策にもつながります。

POINT 1 やっぱり気になる耐震性。どこをチェックしたらいいの?

通常設計で震度6強まで適応

1981年以降に建てた家はすべて、建築基準法の「新耐震設計基準」に沿って設計されているので、震度6強までは耐えられる構造になっています。もし震度6以上の耐震構造にしたい場合は、オプションで「新耐震設計基準」の1.25倍、1.5倍と指定することも可能です。

地震対策 耐震・免震・制震の違いは?

耐震構造
「耐震」は建物自体の構造部分を強くしてしっかり建てる方法



免震構造
「免震」は建物と地面とを切り離し、間にローラーやスプリングなどを入れて建物自体が揺れないようにする方法



制震構造
「制震」は弾力性のあるゴムなどを使用した振動軽減装置を壁の中や柱に入れ、地震のエネルギーを吸収させる方法



建築のプロに伺いました



小野加瑞輝さん
一級建築士
株式会社エコーライン代表取締役、NPO法人レニウムシティ理事長、(社)東京建築士会相談委員会委員、99建築問題研究会参加建築士、建物ドクター登録建築家

Check!! 太陽光発電はおトク?

太陽光発電システムを用いると、節電効果が高まり、停電になったときでも、電気を使えるというのがメリット。ただ、設置やメンテナンスのコストが高いのがネックです。もっと低コストで太陽光を利用したいなら、太陽熱温水器や太陽熱給湯システムもおすすめ。太陽熱で水を温めて利用するシステムで、電気代またはガス代の節約ができます。



太陽光利用もいろいろあるのね!

POINT 5 満足のいく家づくりをするためには何をしたらいい?

家族全員がどんな家になりたいか意見を出しきることがポイント

ハウスメーカーや建築士と打ち合わせる時は、必ず家族全員で。みんなでどんな家がいいか、とことん希望を出し合うワークショップを行いましょう。そのとき、お互いの意見を否定しないことが大切! それぞれ意見を出しきったうえで、プロのアドバイスをあおぎ、実現できる条件の優先順位をつけてプランをまとめていくと、お互いに納得いくものができますよ。



POINT 2 防災対策で押さえておきたいことは?

災害に強い家にするために、土地選びや家づくりの段階からチェックしておきたい項目がいくつかあります。下記を参考に!

1 家を建てる土地の地盤などを事前にチェック

建築予定地の地盤や、周囲の環境などをしっかり把握しておくことが大事。また、過去の地震や水害の状況についても、各自治体でチェックしましょう。それぞれの役場のホームページ、または国土交通省のホームページの「ハザードマップポータルサイト」でも確認できます。



2 出入口は2つ以上つくる!

玄関のほかに勝手口を設けることはもちろん、各部屋もドアが1カ所しかないとき万一のときに塞がって出られなくなることもあるので、別に1カ所以上、外に出られる窓があると安心です。



3 熱源は2種類。炭などを燃やせるスペースもあると◎

熱源は電気、ガスと分散させておくのがベスト。どちらかが止まってしまっても、一方は影響がないときもあります。熱源の復旧に時間がかかる場合もあるので、たとえば、屋外で炭などを燃やせるスペースをつくっておくと、いざというときに役立ちます。



4 家具は造り付けがベスト

家具が多いのは、防災としてはデメリット。家具はなるべく造り付けにして、大きい家具は置かないように間取りに工夫を。できるだけ、物を持たずにシンプルに暮らすことが、防災対策につながります。



5 窓ガラスは強度の高いものを選ぶ

災害時に窓ガラスが割れるのはとても危険なので、できるだけ強化ガラスや合わせガラスに。普通ガラスでも飛散防止フィルムを貼ると安心です。ホームセンターなどで売っているので、自分でも手軽にできます。



6 食器棚などの扉には耐震ロックを

食器棚など、両開きの家具は、地震のときに扉が開かないよう「耐震ロック」を取り付けましょう。中ものが飛び出して散乱するのを防ぎます。



7 食品庫を広くつくる

やはり食品の蓄えは大切です。食品庫のスペースはできるだけ広くとり、常に缶詰やレトルトなどの食品を保存しておくといいでしょう。

